

巻頭
言

Make Japan Great Again

| 会長 山崎 學



MAGA (Make America Great Again) をスローガンに掲げた大好きなドナルド・トランプがホワイトハウスに帰ってきた。大統領執務室に座ったトランプは矢継ぎ早に民主党政権で混乱した国内の諸問題についてトランプ色の強い大量の大統領令に署名し、国民に分かりやすい言葉で語りかけた。曰く、多様性・公平性・包括性 (DEI) 政策の見直し、中国色に染まった WHO からの脱退、パリ協定への不参加を含めた温暖化政策からの撤退、金食い虫の EV からガソリン車への転換、性別は男性・女性の二つだけとし行き過ぎたジェンダー多様性政策からの脱却、出生地主義の見直し、中国が狙っているグリーンランドのデンマークからの購入、米国が建設しパナマ政府に譲ったがいつの間にか実質中国企業が運営しているパナマ運河の返還、メキシコ湾からアメリカ湾への名称変更、中国からの違法薬物原料の搬入先であるカナダ・メキシコに対する 25% の輸入関税導入等、多くの先進国がこぞって推進していた地球温暖化という美名のもとに行われていた詐欺的ともいえるビジネスについて一刀両断し、リベラルという名前で世界的に進行している社会現象に警鐘を鳴らした。

ひるがえって我が国を見ると、安倍晋三元総理亡き後の政治的混乱は目を覆うばかりである。少子高齢化社会における全世代型社会保障改革というわけの分からない名のもとに、財務省を中心に実質増税路線に一直線。社会保障財源として平成元年に物品税から消費税に名前を変えて、3%、5%、8%、10%と段階的に増税され、さらに財務省はEU なみに 15%、20% をもくろんでいるとも聞く。ロシアのウクライナ侵攻から始まった資源獲得競争はエネルギー価格、生活関連物資の価格を高騰させた一方で、実質賃金が上がらない中で国民の貧困化が進行している。医療業界においても令和6年6月に行われた診療報酬改定は実質 400 億円のマイナス改定となり、結果として多くの病院で経営収支が大幅に減少し、赤字経営を余儀なくされる現状にある。こうした中で医療団体は令和7年4月に診療報酬の期中改定、4月実施予定の 1,000 億円を目標とした薬価引き下げの中止を国に要求しているが、財務省のガードが固くて厚生労働族でも歯が立たない状態と聞く。一方で、石破茂総理は日米首脳会談で米国に対して 1 兆ドルの経済投資を民間で行い、加えて米国製の防衛兵器を購入することでトランプがもくろんでいた在日米軍駐留経費 (思いやり予算) の大幅な増額要求をいったんは回避したという。どこから出た声なのか定かではないが、医療 DX は経産省、厚労省を中心に粛々として進められているが、電子カルテの普及が 40% という民間精神科病院にとってはどこか遠い国の話の感がある。一般企業においても急

速に進むインターネット広告，クラウド・オンライン会議，生成人工知能（AI）の利用により，2024年現在でデジタル関連収支は約6.6兆円の赤字に達している。そうか，既存の外国製のクラウドを使った医療DXシステムが完成すると医療・介護関連企業は毎月米国企業にクラウド管理料を払い続ける上納システムが完成するということなのか。

組閣後に天皇陛下の御前で行われた認証式でのだらしない服装が物議を醸し，G20の会合でも他国の首脳に座ったままで返礼する育ちの悪さを披露し，記者会見でも内容のない冗長なコメントを続けている石破総理を見るにつけ，颯爽とした笑顔で登場して，トランプ大統領とメルケル首相を仲裁する安倍元総理の爽やかな姿が頭から離れない。

日本版「トランプ」，早く出てきてほしい。